

インターバンクの声（2017 年 2 月 10 日）

日米首脳会談を前に、東京市場が始まってからずっと動きが鈍くなっていた円相場だが、日本時間の 0 時前から突然ドルが買われ始めた。

トランプ大統領がこれまで具体的な言及をして来なかった税制改革について、向こう数週間以内に驚くような計画を公表すると発言したためだ。

今週はじめの東京市場が引けた後は、リスク回避による円買いが続き、ドルが反発しても 112 円台中盤になるとドル売りに押されるばかりだった。日米首脳会談についても、トランプ大統領が中国と日本の自国通貨安政策を批判していたこともあって、安倍首相に直接不満をぶつけてくるのではとの警戒感も相場が円高傾向に動く背景となっていた。

税制改革の細かい内容は依然として明らかになっていないが、米国でも高速鉄道網を含む交通インフラを整備する考えを示し、気の早い人達は日米首脳会談で日本の新幹線導入の話も出るのではとの期待もあるようだ。

景気拡大に繋がる大統領発言だっただけに、ドル/円も久しぶりに 113 円台に戻して来た。安倍首相をフロリダの別荘に招待することを考えれば、日本に難題ばかりを押し付けるような会談になるとは思わないが、慎重な投資家の利食いによるドル売りもあるので気を付けたい。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。